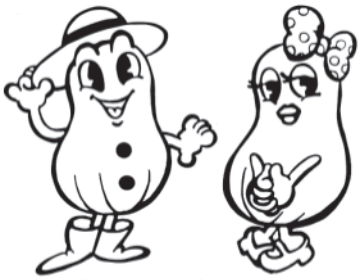
やちまた市議会だより

第186号
平成23年（2011年）
〔12月15日発行〕

火あそびはしなぁ～い!!

11月14日（月）に佐藤弘道さん（ひろみちおにいさん）が市立朝陽幼稚園に“ライター安全大使”として来てくれました。おともだちみんなで『火遊びしない』とちかいました。



ピーちゃん　ナッちゃん

主な内容

9月臨時会・9月定例会

○新しい市議会の構成――――――――――――― 2～3P
○提出議案の主な内容――――――――――――― 4P
○一般質問（代表4人・個人12人）―― 5～14P
○議長・副議長の出席報告――――――――――― 15P
○審議された議案と結果――――――――――― 16P

発行・八街市議会　編集・議会だより編集委員会 〒289-1192 千葉県八街市八街ほ35-29 TEL043(443)1482
〔八街市ホームページに会議録・一般質問項目・会議結果等について掲載してあります。 http://www.city.yachimata.lg.jp/〕

新しい市議会の構成

改選後、初の臨時会が9月21日（水）に開催され、正副議長の選挙、各常任委員・議会運営委員の選任が行われました。

議長に 鯨井眞佐子 議員、副議長に 湯淺祐徳 議員

鯨井眞佐子 議長

昭和23年生
公明党所属
平成11年初当選
現在4期目

湯淺祐徳 副議長

昭和16年生
誠和会所属
平成18年初当選
現在3期目

《あいさつ》

この度、議員の皆様方の御推挙によりまして、議長、副議長の職に就くことになりましたことは、誠に身に余る光栄であります。

快適な市民生活の創造をめざす議会の活性化のため、並びに市民の信頼等負託をいただく議会として適正な議会運営に果敢に取り組んで参りますことをお誓い申し上げまして、就任のあいさつといたします。

監査委員に 新宅雅子 議員

新宅雅子 監査委員

昭和28年生
公明党所属
平成11年初当選
現在4期目

一部事務組合議会選出議員

○佐倉市八街市酒々井町消防組合議会議員
・鯨井眞佐子
・加藤　弘
・湯淺　祐徳

○印旛衛生施設管理組合議員
・川上　雄次
・小髙　良則

○千葉県後期高齢者広域連合組合議員
・鯨井眞佐子

議会運営委員会

委 員 長　中田　眞司　　副委員長　加藤　　弘

■委員の氏名■

後列左から　石井　孝昭、川上　雄次、中田　眞司
加藤　　弘、林　　修三、右山　正美

前列左から　山口　孝弘、小髙　良則

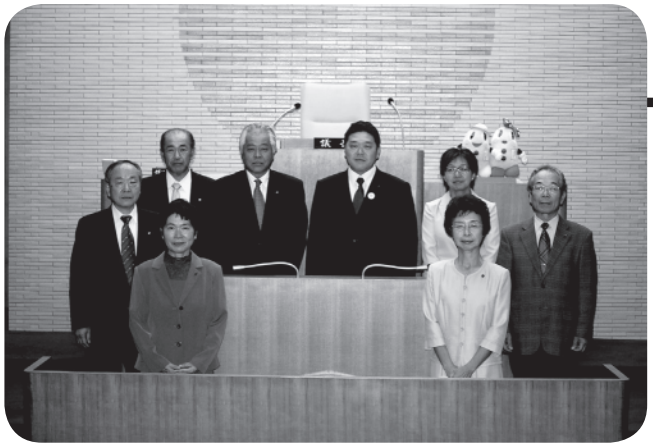
総務常任委員会

委 員 長　小髙　良則　　副委員長　林　　修三

■委員の氏名■

後列左から　丸山わき子、小髙　良則、林　　修三
鯨井眞佐子、加藤　　弘

前列左から　石井　孝昭、古場　正春



文教福祉常任委員会

委 員 長　山口　孝弘　　副委員長　中田　眞司

■委員の氏名■

後列左から　木村　利晴、小山　栄治、中田　眞司
山口　孝弘、服部　雅恵、桜田　秀雄

前列左から　京増　藤江、新宅　雅子

経済建設常任委員会

委 員 長　川上　雄次　　副委員長　林　　政男

■委員の氏名■

後列左から　湯淺　祐徳、川上　雄次、林　　政男
右山　正美、鈴木　広美

前列左から　小菅　耕二、長谷川健介

9月臨時会・9月定例会
提出議案の主な内容

平成23年9月臨時会は、9月21日に開会され、議案5件、平成23年9月定例会は、9月29日に開会され、諮問1件、議案15件が提出され審議されました。

《紙面の都合上、議案の内容の一部を掲載します》

◆教育委員会委員の再任
○八街い176番地13
並木　光男　氏

◆介護認定審査業務を受託
○東日本大震災に伴い、福島県双葉郡川内村から介護認定審査業務の事務を受託するにあたり、規約を定めました。

◆応急仮設住宅を提供
○東日本大震災等の避難者支援のため、民間賃貸住宅を借り上げ、応急仮設住宅として避難者に提供。（315万9千円）

▲提出議案を説明する北村市長

諮問

◆人権擁護委員候補者に適任と認める。
○榎戸700番地7
鈴木　恵子　氏

条例

◆市税条例を改正
○個人住民税における税額控除の適用対象となる寄附金の額を現行の5千円超から2千円超に引き下げる。
○市民税の納税管理人に係る不申告等に関する過料の額の上限を3万円から10万円に引き上げる等の改正。

予算

◆一般会計補正予算
○防犯灯を現在の蛍光灯タイプから120基LEDタイプに設置替え（472万5千円）
○社会福祉協議会に高齢者または障がい者の方が利用できる店舗、施設の掲載されるマップづくりに補助（148万円）
○高齢者の一人暮らしの世帯に「あんしん箱」を社会福祉協議会が設置する費用を補助（182万円）
○放射線測定器2台購入（24万5千円）
○化学肥料、農薬を使用しないなど、環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者に支援（75万1千円）
○砂橋（いさご）の改修及びその付近の水路整備工事費等（3千万円）
○学力の向上、魅力ある学校づくりのために「八街っ子サポーター」を幼稚園、中学校に15名配置。（661万5千円）
○二州小学校沖分校に教育用コンピューターを7台購入。（202万5千円）

◀LEDタイプの防犯灯

◆国民健康保険特別会計
○退職被保険者等高額療養費を増額（899万4千円）

◀改修がまたれる砂橋（いさご）・水路

??あんしん箱とは??

急な入院などですぐに必要となる洗面具や下着などの身の回り品を、あらかじめ（ダンボール箱）に入れて、緊急事態に備えておくものです

決算審査特別委員会を設置

平成22年度八街市一般会計・特別会計（国民健康保険、老人保健、後期高齢者医療、介護保険、学校給食センター事業、下水道事業）及び水道事業会計の会計決算を審査するため決算審査特別委員会を9月定例会において設置し、10月25日から27日の3日間審議しました。

〈委員長〉林　修三
〈副委員長〉石井　孝昭
〈委員〉京増　江
〈委員〉林　政男
〈委員〉川上　雄次
〈委員〉木村　利晴
〈委員〉小菅　耕二
〈委員〉服部　雅恵

市政を問う！

一般質問は、市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、見解を求めるものです。
9月定例会の一般質問は、10月3日（月）、4日（火）、5日（水）の3日間に16名の議員が質問しました。
（ここでは、紙面の関係で、その一部を要約して掲載しています。）

代表質問

市民要望と長期計画を見据えた行政執行を求めて

誠和会　小髙　良則

財政問題

問　歳出の無駄を排除し、効率化を進めることは市政運営に欠かすことができない。毎年不納欠損があり、税の公平性の観点を考えると、きちんと納めて頂く必要がある。税金の徴収状況と滞納整理の状況は。

市長　本市の財政環境は、依然として厳しい状況の中、限られた財源を重点的・効果的に配分し、効率的な行財政運営を行う観点から、安定的な歳入の確保のために、滞納整理の促進や受益者負担の適正化に努めています。平成23年度から4年間を計画期間とした「八街市行財政改革プラン」の策定では、費用対効果の分析や執行方法等に総点検を実施しています。滞納整理状況は、平成20年9月に市税等徴収対策本部を立ち上げ、捜索、差し押さえ、インターネット公売の実施など、滞納処分の強化を図り、広報やちまたや区長回覧を活用した啓発活動や街頭PR活動の実施など、様々な施策を展開しています。

問　八街市は幸いに放射能の土壌汚染が基準値以下で、その点では安堵している。八街市でも災害が起きないとは認識していませんが、被災者支援の予算を補正したので、多くの方にお住まいになっていただきたい。

基幹産業である農業に課題はあるが、作物に関しては、おいしく頂く事ができる。今後は、どの様なPRを重ねていくのか。

市長　幕張メッセで開催された「がんばろう千葉観光キャンペーン」では落花生、西瓜、人参ジュースや人参を使用したプリンなどの試飲試食や市のイメージキャラクターの「ピーちゃん・ナッちゃん」によるステージイベントなどに参加しました。これからも、私自ら八街のトップセールスマンとして、積極的に活動します。農産物の安全性は、放射性物質に係る本市の主要農産物、西瓜、落花生、人参をはじめ、14品目、23検体の検査を現在まで実施し、検査の都度、市ホームページ、広報やちまたを通じて市民の皆様にお知らせしています。出荷時期をむかえる、ごぼう、白菜等も検査を実施し、引き続き市民の皆様に検査結果をお知らせしていきます。

東京電力に補償を求める

問　福島第一原子力発電所の事故に伴う補償の状況は。

市長　原子力損害賠償紛争審査会において決定した東京電力株式会社福島第一、第二原子力発電所による原子力損害の範囲の判定等に関する中間指針により、ようやく動き出したところです。個人の損害賠償に関する請求書用紙等は既に発送されていますが、法人及び個人事業主には、多種多様な事業に対応した請求書用紙等の整備に時間を要しているため、9月下旬に発送とのことです。また、農産物被害に対する要望書を千葉県知事に提出したほか、印旛郡市の7市2町の首長連名で東京電力に対し、補償基準の早急な策定と適切な補償を求める要望書を提出しています。今後も、早期の損害賠償請求が行えるように千葉製茶工業協同組合及び八街商工会議所と連携を図りながら対応していきます。

国道409号の整備

問　文違区から住野区にかけて、歩道の断絶箇所が多々目立ちます。整備計画等どの様になっているのか。

市長　印旛土木事務所に確認したところ、一部道路の境界が確定していないことや、歩道整備をするためには、多くの費用を必要とするため、現在の財政状況では、大変厳しい状況であると聞いています。なお、境界が確定している箇所は、現在の幅員の中で可能な路肩整備、また、歩道用地が買収済みである箇所は、その整備を順次行っていきたいとのことでした。

▶国道409号歩道断絶箇所

代表質問

環境問題、健康施策、デマンド交通について問う

公明党　新宅　雅子

環境問題

問　**八街市のごみの焼却後発生する、焼却飛灰中の残留セシウムは基準値内であるにも関わらず、焼却主灰・飛灰ともに最終処分場に埋めることができず搬入ストップになっている。**

クリーンセンターは毎日稼働し飛灰、主灰も発生しているが、その後どのように対応しているのか。

市長　八街市クリーンセンターから発生する焼却主灰、焼却飛灰ともに、最終処分場への埋め立てが可能な8千ベクレルを下回っていますが、本市では最終処分場への埋め立てを行っていないため、焼却主灰は埼玉県内の民間処理業者に。焼却飛灰は、受け入れが可能となるまでの間、県内の業者に処理を委託しています。

問　**水道水・プールの水・校庭・園庭など、さらに農産物に含まれる放射性物質の測定結果は。**

市長　本市の水道水は、現在、週1回の放射線物質の検査を実施し、測定結果は不検出となっています。また、水道水として受水している印旛広域の水についても、毎日、県で検査が実施され、測定結果は不検出です。小中学校のプールの水は、放射能測定を行い測定結果はすべて不検出でした。現在、小中学校や市立幼稚園の校庭・園庭の放射線量の測定は、教員等により休日を除き、月曜日から金曜日の間、毎日測定を行っています。

再質問　**佐倉市や成田市など近隣市で除染をしているが、八街市では除染の必要性は本当にないのか。**

教育次長　学校・幼稚園関係では、集水桝や側溝を奉仕作業時に清掃をして、その結果測定してみますとグラウンド等とほぼ同じ数値という測定結果が出ていますのでその辺は安心していただいて結構です。

問　**震災後、どの程度の節電ができたのか。また、冬の節電対策も大事です。引き続き節電をどのように行っていくのか。**

市長　市庁舎における平成23年4月請求分から9月請求分までの6カ月間の電力使用量の削減率は29・8％となりました。冬期における節電対策は、室内温度の設定・暖房運転の基準・暖房運転時間の短縮。その他減灯、消灯の継続を図ります。

健康施策

問　**公明党では、過去に何回も子宮頸がんワクチンの助成について、質問・要望をしてきました。子宮頸がんは予防できる唯一のがんであること。がんは、働き盛りの年齢に発症することが多く、がんになると、職を失ったり、身体的にも精神的にも経済的にも大きな負担があることを訴えてきました。今年の4月からは、子宮頸がんワクチンの中学生への接種が多くの市町村に先がけて、全額市負担で始まりましたが、中学生へのワクチンの量は足りているのか。また、ワクチン接種に漏れた場合の対応策で、高校生まで助成の範囲を広げられないのか。**

市長　子宮頸がんワクチンについては、8月以降安定供給がされており、高校生までの拡大は、今後、財源等を含めた上で検討したいと考えています。

問　**病気の早期発見は、国保運営の安定化にもつながります。人間ドックの助成制度への取り組みの進捗状況は。**

市長　人間ドックは、国民健康保険被保険者における疾病の早期発見、早期治療に役立つものと考えています。受診の条件等は、素案ですが、助成額は人間ドック費用の5割、上限額2万円とし、対象年齢が40歳から75歳未満である者、国保加入後1年以上継続して被保険者である者、保険税を完納している世帯に属している者としたいと考えています。

問　**国保事業を安定的に運営するため、そして医療費の適正化のためにジェネリック医薬品使用促進通知サービスの導入を望む。**

市長　質問の使用促進・通知サービスは、差額通知のことと思いますが、現在のところ実施予定はありません。しかし、既に差額通知を実施している先進自治体では、医療費の抑制額が数千万円にも及ぶとの報告もあるので、今後はレセプト等、点検作業に精通した職員の配置等も必要となってくることを視野に入れ、調査研究したいと考えています。

デマンド交通

問　**これまでのデマンド交通システムは、利用者が予約の電話をし、オペレーターが予約を受け、経路を作り、配車するというものでした。しかし、東京大学の研究室で、オペレーター不要のデマンドシステムを開発しました。ふれあいバスとともに、デマンド交通システム導入の研究を要望する。**

市長　本市は、コスト面を考えると、ふれあいバスとの併用運行は難しいことから、現在のところ、デマンド交通の導入予定はありません。しかし有効な移動手段の確保に向け、デマンド交通等の有効性についても、検証していく必要はあるものと考えています。

代表質問

八街駅北口の文化的施設は、いつできるのか

やちまた21　加藤　弘

八街駅北口開発

問　**文化施設等は、PFI（公共施設などの整備を、官民役割分担のもとに民間の資金や能力、ノウハウを活用することでより効率的に行おうとする考え方）も視野に入れ検討するとのことでしたが、現状、財政的な問題を含め、今後の推進は、どの様になるのか。**

市長　区画整理の主目的である土地の再編・整理は完了しますが、文化的施設などを建設する場合には、多くの予算が必要なので、今後の財政状況等を考えて、関連事業などを進めたいと考えています。早い時期に文化的施設の建設に取り組むことは、大変厳しい状況にあると判断しています。暫定的な土地の有効活用について、職員から提案の募集や新たに立ち上げた「八街駅周辺地域活性化協議会」でも検討しています。また、商業核施設用地は、関係地権者等が主体となり進めていただけるよう市は、情報提供などを行い駅周辺の商業の中心として、にぎわいと活力ある商店街となるようサポートしたいと考えています。

▲文化的核施設用地から見たJR八街駅

自然エネルギー

問　**3・11東日本大震災による福島原発の事故以後、エネルギー問題が各地で、いろいろな形で問われています。千葉県内では、既に20の市や町が太陽光発電を中心に条例や要綱を整備し、補助金制度を実施していますが、当市は今後、自然エネルギー、再生エネルギーをどの様に推進していくのか。**

市長　本市も、今年度中に「八街市住宅用太陽光発電システム設備補助金交付要綱」を制定し、補助金を交付します。補助金額は、本市では1キロワットあたり1万円、県の補助金と併せて1キロワットあたり3万円で、最大3.5キロワットまでとし、10万5千円を交付します。本年度は、補助基数10基を予定しています。

教育問題

問　**全国どこの学校で教育を受けても一定の教育水準を確保するために、各教科等の目標や内容などを文部科学省が定めた指導内容になるとのことで、小学校では2011年度から、中学校では2012年度を実施としています。当市では、中学校も新学習指導要領を前倒しして、実施していると聞いています。学力の県平均点到達という大きな課題もある中、どの様に新学習指導要領との整合性を図っていくのか不安を感じるところです。幼・小・中学校での「生きる力」の育成は、どの様に行われているのか。**

教育長　確かな学力の育成として、「学力向上プロジェクト」「八街市基礎学力調査」の実施、小学校へ「八街市学力向上推進員」の配置等を行い、学力向上に努めています。心を育てる教育では、幼小中高連携教育を柱に、子供達の規範意識の育成に力を注ぎ、学校種を超えて継続指導6項目の指導を推進し、あたり前のことが、あたり前にできる子供達を育むことに重点を置いています。体力の育成では、ロードレース大会の実施、新体力テストの結果分析や考察、運動部活を支援するなど子供達の体力づくりに取り組んでいます。

問　**授業時間、教育内容の改善・充実はどのように取り組んでいるのか。また、道徳教育の目標は。**

教育長　授業時間は平成21年度から段階的に増加し、小学校では週あたりの総授業時間数が1・2年生で2時間、3から6年生で1時間増加しています。中学校では、週あたりの総授業時間は、各学年で1時間増加することとなります。新しい学習内容に準拠した教材の整備を行ったり、指導主事を派遣して校内研修を支援したりするなど、適切に対応しています。また、学力向上プロジェクト会議を開催し、情報交換の場を設定したりするなど、今後も各校の授業内容の改善と充実に向けた支援をします。

道徳教育では、学校教育重点計画のなかに、「道徳教育の充実」を掲げ、発達の段階に応じた児童・生徒の内面に根ざす道徳性、道徳的実践力の育成に努めています。

問　**外国語の言語や文化体験等はどの様な推進を図っているのか。**

教育長　児童・生徒が、外国語や海外の文化体験等に親しむ事ができるように、外国語指導助手を配置しています。小学校では、外国語指導の中心となる教材「英語ノート」は、外国の様々な文化や習慣を言語の学習を通じて習得していく内容です。中学校では、教材の工夫に加え、外国語指導助手の部活動への参加やスピーチコンテストに参加する生徒への指導なども行っています。今後も児童・生徒が外国語や海外の文化体験等にしたしむことができるように、さまざまな教科や行事などで、推進できるよう努めます。

代表質問

市民応援の市政で活気ある街づくりを

日本共産党　丸山わき子

くらし・福祉優先の市政を

問　市長の政治姿勢について伺う。

これまでの駅前区画整理事業最優先の市政は、市民負担増とサービス削減とともに、大きな市財政の歪みのもとに進められてきた。平成16年度の国保税の引き上げなど、6億円にも及ぶ市民負担増を。その後、17年度から21年度には集中改革プランによる行財政改革を実施。このほど市は、取り組み結果を公表し、達成率105・9％と目標額をやや上回る成果を上げたと評価している。しかし、個別事業の見直しでは、高齢者・障がい者の制度の打ち切り、サービス削減が9千300万円も含まれており、一層の市民負担と生活悪化につながるものとなっている。

先の6月議会で、「災害に強い街は、暮らし・福祉・防災の行き届いた街づくりであると思うが如何か」という問いに対し、市長は「住民の福祉を守る」ことと「災害から命を守る」ということは一体であり、市の責務であると考えており、普段から医療や介護、福祉、子育て支援などの基盤とネットワークがあってこそ、災害時にも大きな力を発揮できるものと認識している」という答弁をされている。市民の暮らし応援の市政に転換し、暮らし・福祉優先の市政を求めるが、市長の見解は。

市長　市民一人ひとりの暮らしを守るという立場に立ち、福祉も大事にしながら経済活性化や、道路整備にもしっかり対応し、高齢者が安心して暮らせる街づくりを主眼にして、八街市に住んでよかったといえるような街づくりの予算配分に心がけたい。

防災対策の強化を

問　災害時にひとり暮らし・高齢者世帯、障がい者、妊産婦・乳幼児、日本語に不慣れな外国人など、自分で安全な場所に避難することが困難なことが予測される災害弱者への早急な取り組みを求める。

市長　災害弱者の支援計画は「地域防災計画」の見直しの際に、国や県などの上位機関と整合を図りながら取り組みたい。

問　防災無線の改善について伺う。

防災無線が聞こえないという地域・世帯への対策が急がれる。先の議会では「メール配信を検討する」との答弁であったが、高齢者世帯にとっては、圧倒的多数の世帯が対応できない。防災ラジオは、正確な災害情報が瞬時に各家庭に伝えることができるとし、現在、多くの自治体が導入を進めている。八街市でも導入の検討を求める。

市長　防災行政無線の親機本体の老朽化が進んでおり、親局の施設を更新した際に、調査研究したい。

問　太陽光発電への市独自の助成について伺う。

今議会の補正予算で、市も助成に踏み切ったことを評価するが、その対象は限られており、市民の願いには到底応え切れない。積極的な取り組みを求める。

市長　本年度においては、補助基数10基を予定している。

再質問　わずか10基程度で実態に即した対応ができるのか。

経済環境部長　来年度以降は、もっと基数を増やしたいと考えている。

地域活性化で元気なまちに

問　住宅リフォーム助成制度導入について伺う。

地域の仕事おこしとともに、地域経済活性化につながり、地元業者にも住民にも喜ばれ、税収にもつながる住宅リフォーム助成制度導入への市長の決断を求める。

市長　平成24年度中、早期に実施するよう努力する。

放射能対策

問　文部科学省は、被ばく線量を毎時1マイクロシーベルト未満、年間で1ミリシーベルト以下とする方針を出した。これを受け、多くの自治体は独自の基準を設け対応を始めている。市独自の基準値の策定は。

市長　八街市放射線量低減対策基本方針を9月21日付で定めた。

再質問　9月22日の放射線量測定では、大東区子どもの遊び場、榎戸児童遊園、北小学校、松林子どもの遊び場で若干高めであり、低減の取り組みは。

経済環境部長　低減するために何をすべきかを早目に決めて実施し、どのくらい下がるのか検証したい。

問　測定器の貸し出しについて伺う。

自宅の庭や雨どいの下、側溝また通学路は安全なのかという心配の声が上がっている。今議会の補正予算では、測定器の購入費が計上されたが、各家庭への貸し出しは。

市長　家庭への貸し出しは考えていませんが、特にご希望の箇所があれば、市で対応したい。

▶市で所有する放射線測定器

個人質問

地域主権改革関連3法と行政問題について問う！

誠和会　山口　孝弘

地域主権改革関連3法の成立を受けて

問　本年4月28日に、地域主権改革関連3法が国会で成立した。今後、地域のことは地域が決めるという真の地方分権の実現に向け、これまで以上に地域の特性や市民ニーズを把握した行政運営が求められるが、地域主権改革関連3法の地方自治体のメリット、デメリット。また、市民が安心して暮らす地域社会の実現に向けて、市長の見解は。

市長　メリットは、義務付け・枠付けが緩和され、様々な施策を自主的かつ総合的に広く担えます。例えば、これまで全国一律だった公営住宅や道路の整備基準、幼稚園や保育所の設備や運営に関する基準が自治体の条例にゆだねられるなど、その地域の実情に応じた行政が可能になります。デメリットは、国が責任を持つべき福祉、社会保障、教育を住民の自己責任や市場化という手法などにより、地方自治体に任せようとすることが考えられます。本市は、改革法のメリットを活かし、市民が安心して暮らす地域社会の実現に向け、無駄な支出の削減や行財政改革を行い、本市の実情に即した行政サービスを提供できるよう努力します。

再質問　激化する都市間競争を勝ち抜くためにも、しっかりとした対応が必要。今後、どのようなセクションで考えていくのか。また、どのように職員に周知していくのか。

総務部長　市の権限移譲の担当は総務課の行政班。条例改正は、総務課の文書班。そして、それぞれの事業の各担当課が連携をして対応します。職員周知は県から送られてくる情報等、庁内の各課等に送付し情報の共有化を図り、先進自治体の動きについても、タイムリーに情報発信をして周知、問題意識を高めていきます。

行政問題

問　市役所庁舎内にナンバーディスプレイが導入されているが、しかし、教育施設等には、導入されていないのが現状。子どもたちの安全やサービス向上ため、ナンバーディスプレイの導入は。

ナンバーディスプレイとは

電話に出る前にかけてきた相手の電話番号が電話機などのディスプレイに表示される機能。

市長　苦情処理や問い合わせに対し、発信者の特定が必要な場合もあることから、今後、ナンバーディスプレイ対応機器への更新を図ります。

※その他の質問
◆道路問題
◆教育問題

個人質問

安全で活力あふれる街づくりのために

誠和会　林　修三

安全で安心な街づくり

問　市民全体への避難訓練を行う考えと日常的な防災への啓発活動は。

市長　市民を含めた避難訓練等の必要性は、深く認識しているが、市民の方が参加できる訓練は、各地域単位で行う訓練が地域の方の顔を知り、よりきめ細かな対応ができると思います。今後も要望に応え、関係機関と協議しながら実施します。

再質問　防災マップ、ハザードマップ等、実際に市民はどの様に捉えていると考えるのか。

総務部長　大震災を契機に避難場所、災害時の心構え等を記載した防災マップ、地震ハザードマップ、これを見て改めて確認をされた市民の方は多いと捉えています。

活力あふれる街づくり

問　街づくり戦略室立ち上げの考えは。

市長　街づくりを通した市の活性化は、さまざまな方々から意見を拝聴する中で、それらを集約し、街が元気になる方策を進めたいと考えており、今後、市の中堅職員を対象に意見を聞く場や機会なども設けて行きたいと考えています。市の活性化、街づくり等は、各担当部署で、さまざまな取り組みをしていますが、専門的に戦略を考えていくセクションの必要性も感じていますので、今後、プロジェクトチームの設置なども視野に入れながら、検討します。

便利で快適な街づくり

問　JR八街駅二区地先踏切周辺の振動への解消策についての考えは。

市長　八街二区地先の踏切周辺の振動は、市として把握していませんでした。今後、周辺住民からの聞き取りなど、現地調査を行い、どのような状況であるかを把握する必要があります。その結果をふまえ、JR千葉支社に対する改善要望を検討します。

元気で健康に過ごせる街づくり

問　中央グラウンドの改修状況と進入道路の改善及び信号機設置は。

教育長　昭和29年に町営グラウンドとして設置し、最近の改修では平成19年度バックネット裏の全面改修等行いました。今後は、夜間照明施設の塗装塗り替えを三年計画で行います。進入道路の整備計画はなく、交差点における信号機の設置は大変難しいことです。

※その他の質問
◆JR八街駅北口・南口の活性化
◆JR八街駅、榎戸駅の利便性の拡大
◆市民体育祭の今後の考え方
◆教育の日、幼小中高連携教育の拡充
◆産業まつりの今後の計画と努力点

個人質問

安全安心で活力ある豊かなまちづくりについて

誠和会　石井　孝昭

地域防災計画の見直し

問　地域防災計画の見直しポイントの一つとなる放射性物質事故を想定した対策に取り組むのか。

市長　地域防災計画の見直しの際には、東日本大震災による福島原発の大気汚染や土壌汚染など、放射性物質の事故もありましたので、県の放射性物質事故対策等と整合を図りながら検討します。

減災対策

問　当市は、地震による被害想定をベースとして被害の最小限化に向けた取り組みが必要であり、自助・協助・公助のそれぞれが、その目的と期待される効果を共有することが重要ですが、各家庭における防災意識高揚に向けての取り組み。また、食糧備蓄倉庫の整備状況とその充実に向けての取り組みは。

市長　来年度から、耐震診断の判定値が1.0未満の木造住宅を対象に耐震改修工事に対して助成する補助制度を予定しています。また、防災用資機材等の整備を優先させ、来年度以降は、防災備蓄倉庫の配置状況をみながら計画的に整備します。

防災ラジオの活用・取り組み

問　普段はＡＭ・ＦＭラジオとして使用し、災害時には防災無線を優先受信する、緊急情報を確実に伝えるための防災ラジオを各家庭に導入しては。

市長　調査研究したい。今後は市民への防災情報等を配信できる防災メールサービスの実施に向けて進めます。

学校給食

問　放射能の食材への影響が大変敏感になってきている中、食材の産地表示への取り組みは。

教育長　納入食材の産地を学校給食献立表に、表示することを検討します。

産業振興

問　（仮称）酒々井インターチェンジを利用した経済活動の活性化について、商業施設の進出や企業誘致により、雇用機会の増進に努め、地域経済の活性化を図り、税収の確保により財政の健全化に努めることが重要では。

市長　八街市と酒々井町で学習会を開催する予定であります。八街産農産物のＰＲを行う上で、絶好の場となると考えられるので、ＪＡいんばにも働きかけをします。

※その他の質問

◆新規就農者に対する取組

◆公共インフラ整備

①砂（砂水路）河川整備

②小谷流４号線の道路排水整備

③勢田７号線通学路整備と防犯灯設置

④滝台26号線整備

⑤山田台18号線整備

個人質問

文化ホールとレクリエーションの場の推進

誠和会　小山　栄治

文化ホール

問　文化会館基金条例はどの程度進展したのか。

市長　現下の厳しい財政状況等もあり、進展していないのが現状です。

問　文化ホールを兼ね備えた中央公民館の建て替えの考えはないか。

教育長　現在のところ、中央公民館を建て替える計画はなく、文化ホールと公民館を兼ね備えた施設を中央公民館の敷地内に建設する予定はありません。

再質問　なぜ北口にこだわっているのか。今の文化施設用地を売却して、もっと広い場所に建てたらどうか。財政の苦しいのはわかるが、「お金がないから出来ない」ではなく、どうしたら出来るかということが考えられないか。

総務部長　まず、どの様なものを作るのか、作ったらよいのかというアウトラインを作成していく中で、現在の土地がどうかという議論をしていかなければならないと考えています。現在、担当課の方でも検討をしているところです。

レクリエーションの場の推進

問　八街キャンプ場周辺、スポーツプラザ周辺を整備し、「さんぶの森公園」のような公園が作れないか。

教育長　八街キャンプ場及び、スポーツプラザ周辺との一帯土地利用による公園化の計画は現在ありません。現段階では、既存のスポーツプラザ芝生内の遊具を充実させることにより、より多くの市民が憩える場所となるよう努めます。

再質問　子供達が安心して遊べる場だけでなく、非常時の避難場所として大事な場所になります。整備計画の現状は。

教育次長　隣接している一般廃棄場のごみ処分場の埋め立て終了時に跡地利用の検討がされることになると思いますので、その時にあわせ検討したいと考えています。

▲市スポーツプラザ芝生広場

個人質問

「災害弱者」に対する防災支援活動は

誠和会　小菅　耕二

安心安全が一番の街づくり

問　高齢者、障がい者など、「災害弱者」に対する防災支援活動の現状は。

市長　ひとり暮らし福祉票、高齢者世帯福祉票の個人情報開示、訪問の同意を求めており、確認できたら関係団体に情報提供し、災害時の救出、日頃からの訪問、見守りを行い高齢者の安全安心につなげます。視覚、聴覚障がい者の世帯は、情報を伝えるための仕組みの構築について当事者団体とともに検討し、防災支援体制を整備検討したいと考えています。

問　防災備蓄倉庫の設置状況と増設計画は。

市長　平成8年度より整備を行い、現在14箇所の整備が進んでいます。防災備蓄倉庫の配置状況をみながら、備蓄品や「災害用資機材等」を含め、整備したい。

楽しく通える通園、通学路

問　道路交通網の整備計画の現状は。

市長　広域的な移動が円滑にできるよう、幹線市道の整備のほか、国道、県道のバイパス的役割を果たす路線について、交差点の改良、歩道整備などを計画的に進めたい。また、今年度交通量や渋滞箇所の把握のため業務委託し、そのデータをもとに今後の道路整備計画の策定に取り組みます。

問　実住小学校や八街保育園付近の通園通学路の交通安全対策の現状と課題、またどのように解決を図ろうとしているのか。

教育長　通園や通学する経路には危険をはらむ箇所もあり、事故を未然に防ぐため、十分に注意が必要とされます。子どもたちの安全を第一に考え、年一回定期的に交通安全教室を開催しています。帰りの会や集団下校時に交通安全の指導を繰り返し行い、地域で「実住っ子見守り隊」も結成され、保護者とともに安全対策も行われています。今後も国や学校と連携して、子どもたちの登下校の安全を含めた安全教育の推進に努めます。

商工業の振興

問　本市の商工業の振興計画の現状は。

市長　商工業者の育成と中小企業の近代化を図り、活力ある商工業活動を展開していくため、商工業の活動を支援し活性化を図るとともに、連携して中心市街地の活性化に向けた「八街ＴＭＯ構想」による事業の支援にも取り組んでいます。今後も商工業の振興を図るため、中小企業資金融資による利子補給事業の拡充にも努め、さらに公共事業等を地元業者へ受注機会の拡大を図っていきます。

個人質問

安全なまちづくりと地域の発展について

誠和会　長谷川　健介

道路、歩道の整備

問　市道114号線、111号線の道路整備計画は。

市長　市道114号線は、歩道の整備を含めた道路改良を実施する計画にとなっています。また、111号線は市の財政状況を考慮しますと、114号線を整備した後、検討したいと考えています。

再質問　市道114号線の着工の予定など、現在の進行状況は。

建設部長　市道114号線は、次の整備路線となっています。初めに、川上県道との合流部において交差点改良を行う必要があるので、県と協議しながら事業を立ち上げたいと考えています。また、これは、来年、再来年については、県と十分協議しながら早い時期に立ち上げたいと考えています。

▶市道114号線川上県道との合流部

問　防犯灯の設置計画は。

市長　各地域の代表者から年間約150灯の要望があり、今後も地域の要望にそって設置したいと考えています。また、高圧ナトリウム灯は、毎年30灯の整備を行っています。ＬＥＤ灯は、今回、環境対策として更新事業を補正予算に計上しました。

農業

問　八街市の基幹産業である農業についてどのような政策に取り組んでいるのか。

市長　園芸・農産部門では、補助事業を活用した生産体制の確立と「ちばエコ農産物」の推進、土づくり等の持続型農業への取り組みを支援し、また、畜産部門では、安定的経営発展を進めるとともに、環境保全型農業を支援しています。今後も農業所得の向上を図るため関係機関と連携を図りながら支援したいと考えています。

?? 環境保全型農業とは ??

農業のもつ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業

個人質問

水環境保全や生活排水対策 ブランド野菜と榎戸駅整備

公明党　川上　雄次

水環境の保全

問　水環境や生活環境の保全では、八街市は近年の住宅開発や耕作放棄地の増加など、環境の変化で大きく自然が損なわれています。本市で行われている水環境や生活環境の保全に関する学習、広報活動の実情は。

市長　水質保全は、地下水や河川の水質の現状把握が重要であると捉え、地下水の検査及び河川等の水質検査を行っています。

問　地下水の水質保全や涵養の施策には、近年はゲリラ豪雨をはじめ、気候変動による大雨も多い状況です。、防災のための雨水流出量の削減策は。

市長　健全な水循環と環境保全に関する施策は、広域的な取り組みが重要とされることから、引き続き関係機関と協力して、その推進に努めます。

生活排水対策

問　一般家庭生活からの排水は、し尿や厨房、洗濯等の生活雑排水からなり、水質汚濁負担の元凶です。適正処理が求められるが、本市の生活排水対策に係る施策は。

市長　公共下水道などの排水整備はもちろんのこと、公共下水道許可区域外の地域における家庭用小型合併処理浄化槽を設置する家庭には経費の一部を補助しています。今後も継続的に補助を行うとともに、市民の生活環境の改善に努めます。

ブランド農産物

問　ブランド農産物育成の地域振興策は、砂ぼこり対策と遊休農地解消を兼ねて、小麦や大豆栽培による特産品づくりに取り組むなどの支援策に取り組めないのか。

市長　小麦栽培では、関東地方でパン用小麦として期待されている「ユメシホウ」を学校給食に使用できるよう学校給食会と協議を重ねているところです。来年度は環境保全型土づくり事業の対象品目に含めることの検討もしており、地産地消をあわせた特産品づくりに向けて引き続き努力します。

榎戸駅整備

問　榎戸駅整備基本計画の設計委託先、委託内容は。

市長　業務の委託先は、ジェイアール東日本コンサルタンツ（株）であり、内容は、現状把握等、将来駅利用者数の想定、自由通路・駅舎基本計画、概算工事費です。

問　市民要望の多い駅ホームの整備充実はどのようになるのか。

市長　駅ホームの上屋は、基本計画策定業務内容には含まれていません。

個人質問

通学路の安全対策と空き教室やブックスタートについて問う

公明党　服部　雅恵

通学路の安全

問　通学路は子供達が安全に登下校できることが前提です。通学路の安全点検は、どのように行われているのか。

教育長　通学路の点検は、多くの学校が点検日を設定し、教職員が車を使ったり、歩いたりして点検をし、児童・生徒の下校時にも一緒に帰りながら点検しています。また、家庭訪問時に、全員の家までの経路を点検し、台風や地震の後、教職員が通学する経路の安全を点検しています。その他、ＰＴＡや地域の方々が、通学の経路を点検しています。危険をはらんでいる箇所は、各学校で、児童・生徒に安全指導を繰り返し行っています。

問　通学時間帯の速度制限の実施と、大型車両の進入規制が行えないのか。また通学路で黎明高校グラウンド脇の段差解消の取り組みは。

市長　速度規制や大型車両の進入地域の代表者からの要望や規制しようとする地域の交通事情などの安全性を考慮し、本年3月24日に39カ所の交通規制に関する要望書を佐倉警察署に提出しています。ご指摘の段差箇所は、舗装面がボックスカルバートより低くなっており、自転車等が転倒するおそれがあるので、早急に補修を実施します。

空き教室の活用

問　空き教室の活用と放課後子ども教室の取り組みは。

教育長　各学校とも普通教室として使用していない教室があり、現在、算数の少人数指導や個別支援、教育相談などのために活用しています。

今後は、学校と地域の方々が連携した放課後子ども教室を実施できるように、人材育成のための学校支援ボランティア講座を各小学校区で実施するなどの支援をしていきます。

ブックスタート

問　２０１１年８月31日現在、ブックスタートの実施自治体は、全国１千７４６の市区町村の内７９９市町村となっています。子育て支援の大事な事業の一つでもあるブックスタートの一日も早い実施を要望するが、その取り組みは。

市長　ブックスタートは乳児と保護者が絵本を介して、ゆっくりと心触れ合うひとときを持つ、きっかけづくりにつながるため、本市としても、乳児相談事業に取り入れて実施できないか、健康部門と図書館司書が調査・検討をしており、ボランティアの人材確保と、事業に伴う予算確保の目途を立て、平成24年度中に乳児相談事業に取り入れたいと考えています。

個人質問

成田空港離発着枠拡大に伴い 八街市の活性化に結びつけられないか

やちまた21　林　政男

財政

問　国は国保財政の抜本改革を図る必要があるが、現状は進んでいない。八街市は独力で国保問題を少しでも改善しなくてはなりません。本年度の現況と今後の見通しは。

市長　平成17年度は37億9千986万9千円だった療養給付費が、平成22年度は46億9千750万7千円、わずか5年間で23・6％も増加しています。国は社会保障と税の一体改革を進め、国保全体の財政基盤の強化を図るための方策を検討しているが、当面は現行制度で国保事業の運営になるので、今以上に厳しい運営を強いられると考えています。

問　本市の硬直財政を打破するには、新規財源の確保が求められます。どの様な手段・方法で新規財源の創出を考えているのか。

市長　新規財源の創出は、「広告収入の類」です。本市は、一部の封筒で実施していますが、封筒以外では、ホームページのバナー広告、市作成のカレンダーへの広告、広報やちまた、市議会だより、中央公民館だより等への広告、公用車への広告、ふれあいバス停留所看板への広告等が考えられます。

その他には、野球場や各グラウンド、またはスポーツプラザ等の命名権も考えられますので、今後とも自主財源の確保について取り組みたいと考えています。

交通網の整備

問　成田空港は、平成26年に年間30万回の離発着枠に拡大することになり、この発着枠拡大に伴う物流、人の交流を捉えて八街市の活性化に結びつけられたらと考えます。八街成田空港間の直通バスの開設などを積極的に取り組む考えはないか。

市長　路線バス事業者と、可能性について意見交換したいと考えています。富里市長が提案される過去の軽便鉄道にならった交通網整備に、協力要請があれば、可能な限り協力したいと考えています。

北総中央用水事業

問　農業従事者の高齢化、後継者不足、長引く不況などから、加入に踏み切れない農家が少なくありません。賦課金の軽減は出来ないのか。

市長　県外では、用水が、消防用とかんがい用に両立されていることから補助を行っているものですが、北総中央用水の地域用水型とは区分けされるものと考えています。基幹産業は、農業ですので、今後、国・県と協議して参りたいと考えています。

※その他の質問

◆国道409号のバイパス計画策定

◆トランジットモール

◆北総中央用水加入・脱会の緩和

個人質問

市民の足としての公共交通の充実と乗合タクシーの実現を

日本共産党　右山　正美

ふれあいバス

問　ふれあいバスの運行協議会は、「ふれあいバス運行事業の初期の目的である市民の日常生活における利便性の向上と公共福祉の増進を図るため」改善策を検討すると提言書をまとめ、市長に提出をした。ところが、9月1日のダイヤ改正と同時に「病院に止まらない、駅に行けない、子どもたちが塾に行けなくなった、200円で行けたところが400円もかかってしまう」など、あちこちから不満の声が上がっている。こうした市民の声、また利便性を求める協議会の答申をどのように受け止めているのか。

市長　ご意見は今後のダイヤ改正の参考とさせていただきたい。現行の財政負担等を考えると新たなコースの増設は難しいと考えています。

乗合タクシーの導入を

問　「足が悪くて、バス停まで行けない」「病院に行くのに家族にいつも頼めない」「買い物をしても、重い荷物をもってバス停から歩いて帰れない」など、多くの声が寄せられている。今後、高齢化と同時に免許証自主返納など、一層交通弱者が増える事は明らかである。気軽に病院や買い物に行けるよう、地域の暮らしを支える乗合タクシーの実現を求める。

市長　現在のところ導入予定はありません。しかし、社会形態の変化に伴い、検証していく必要はあると考えます。

地震対策

問　文科省は公立小中学校の耐震化を早い時期に完了させる新しい施設整備基本方針を出した。事業を前倒ししてでも川上小・交進小・八街東小の耐震化を進めるべきでは。

教育長　財政状況を踏まえ、国庫補助率のかさあげ期間も考慮し、早期に耐震補強等を実施したいと考えています。

問　地震などの大災害に備えて自治体に協力してくれる防災協定締結についてどのように考えているのか。また、備蓄については、東日本大震災を教訓に乳児・女性・高齢者まで視野にいれた防災備蓄をすべきではないか。

市長　災害時における市民の安全確保、早期の復旧対応を図るため、各関係団体とも協定を締結しています。備蓄については大震災を総体的に考慮し、整備します。

信号機の設置

問　28箇所の信号機設置、10箇所の信号機変更の要望が出されており全体計画の解消は。

市長　信号機が出来るよう引き続き佐倉警察署に要望します。

個人質問

命と暮らしを守る国民健康保険に

日本共産党　京増　藤江

払える国保に

問　平成22年度の国民健康保険の収納率は42・9％、年間所得2百万円未満の滞納世帯は7割を占めており、払いたくても払えない状況である。市長が最優先で進めている第三雨水幹線事業費は、当初計画より削減できるとしている。削減分の一部を活用し、応益割負担分の軽減を求める。

市長　国保税は、負担能力に応じた応能割と受益に応じた応益割のバランスをとることが重要であり、中間所得者層に重いと言われる保険税負担を緩和する点でも、現行のバランスが適切である。また、保険税総体の引き下げを前提とした保険税率の改正は難しく、応能割・応益割の見直しは実施しない。

再質問　30歳未満、30歳代、40歳代の約5割の方々が滞納している。この原因は何か。

国保年金課長　景気動向に左右され収入が減る中で、国保税の滞納率が高くなっている。

問　市長は「国保税の引き下げをしない」と答弁したが、滞納すれば保険証がもらえず、病院に行くことができない市民のことを、どのように考えているのか。

市長　国保財政状況をみると、要望に応えられず心苦しいが、今後も国保財政の健全化に努めたい。

滞納者への丁寧な対応を

問　滞納者の窓口相談では生活条件などを丁寧に聞き取っているのか。

市長　納付機会、納税相談機会の拡充に努めており、その際、家族構成、収入状況等を丁寧に聴取し分割納付等に応じている。

再質問　相談者が払える金額を示すと「それではいつまでも終わらない。ある程度払いなさい」と言われ、借金してやっと払った方もいる。徴収強化では暮らしを守れない。市民の条件をじっくり聞く姿勢を持つべきでは。

総務部長　個々具体的な事情を踏まえた納税交渉を行うなど、丁寧な対応を心がけている。

70歳から74歳の医療費

問　国は、医療費を1割から2割に引き上げようとしている。市民から「2割になったら病院に行けない」「通院回数を減らすしかない」など不安の声が上がっている。引き上げ中止を国に要請することを求める。

市長　特例措置により、平成24年3月31日までは1割となっている。その後については未定であるが、決定され次第周知をする。

個人質問

原発に伴う放射線対策は

桜田　秀雄

放射線対策

問　毎時3.8マイクロシーベルトの基準値では幼い子供達の安全は守れない。対策の強化を求める。

市長　文部科学省からの通知（平成23年8月26日付）に基づき、八街市内における放射線量の低減に関する基本事項を定めました。国より示された基準値（毎時1マイクロシーベルト）を基に、本市で定めた基本方針に沿って対策を進めます。

問　砂嵐を吸引し内部被曝が心配される。吹き溜まり土砂の放射線量を測定する考えはないか。

市長　現在のところ考えていません。局地的に線量が高いと思われる場所は、できる限り線量を下げていくために清掃活動等を実施したいと考えています。

問　安全から安心へ、放射線測定器の市民への貸出を求める。

市長　現在、45教育施設等で継続的に測定し、随時ホームページ等で公表しているので参考にしてください。各家庭への貸出は考えていませんが、特にご希望の箇所があれば市で対応します。

問　原発事故は、人災です。農産物等の損害賠償について断固、国や東電に求めるべきと思うが。

市長　本件事故に係る損害について農業者には、全く落ち度がなく、全ての損害は広く賠償されるべきと考えています。5月27日に千葉県知事に対し、農産物被害に対する敏速な対応を求める要望書を提出しました。県も東京電力及び国が責任を持って対応するよう要望しています。さらに、9月9日印旛郡市の7市2町の首長連名で、東京電力に対し、補償基準の早急な策定と適切な補償を求める要望書を提出しています。

道路行政

問　国道409号、成東酒々井線、千葉八街横芝線の歩道整備は。

市長　国道409号歩道の段差解消は、沿線で開発が計画された時に、マウンドアップ方式からフラット型の歩道へ。千葉八街横芝線八街い地先1千200メートルを平成25年度までに、二区地先は地元の意向を把握し対応します。成東酒々井線は、要望書を提出しています。

▲千葉八街横芝線二区地先

※その他の質問
- ◆議員定数の削減
- ◆市長の催事出席
- ◆私道団地舗装助成制度創設
- ◆選挙公費制度

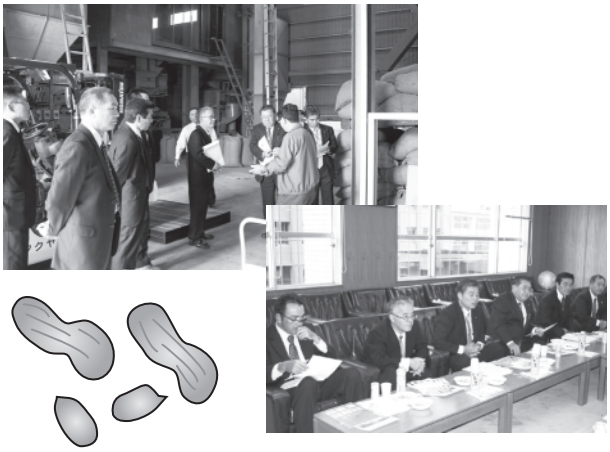
北総地区市議会議員研修会に参加

10月20日に北総管内11市の議員研修会が成田ビューホテルで開催されました。

講師には、元全国都道府県議会議長会議事調査部長の野村稔先生をお招きして、「地方議員のための基礎入門」をテーマに講演頂きました。

沖縄県伊江村議が来市

10月20日に沖縄県国頭郡伊江村の経済公営企業常任委員会5名が落花生加工施設を視察に来ました。



八街少年院を視察

10月19日（水）に八街少年院の施設内視察、概況説明を受けてきました。

酒々井南部区画整理事業を視察

10月14日に経済建設常任委員会協議会を開催し、委員7名が、酒々井南部区画整理事業について研修してきました。

★議長・副議長の出席報告★

【8月】
- 3日・北総地区市議会正副議長会定例会・視察（旭市）
- 9日・印旛管内市議会正副議長連絡協議会定例会
- 20日・「戦没者を追悼し平和を祈念する日」追悼式
- 29日・八街ふれあい夏まつり開会式
- 29日・中学校総合体育大会等報告会

【9月】
- 25日・消防操法大会
- 28日・地域防災有識者会議

【10月】
- 2日・議長杯ソフトボール大会閉会式
- 6日・更生保護女性会創立35周年記念式典
- 9日・市民体育祭
- 11日・富山県議会議員行政視察来庁
- 16日・市民文化祭芸能部門発表会（民謡・舞踊・吟詠・尺八）
- 18日・消防組合議会定例会
- 19日・八街少年院視察（佐倉市）
- 20日・北総地区市議会正副議長会議員研修会（成田市）
- 21日・沖縄県伊江村議会議員行政視察来庁
- 23日・千葉県市議会議長会定例総会（千葉市）
- 24日・市民文化祭芸能部門発表会（カラオケ・マジック・合唱）
- 29日・ボランティア大会
- 30日・結婚50周年記念祝賀会
- 31日・市定例表彰式

【11月】
- 4日・印旛郡市負担金審議会（佐倉市）
- 印旛郡市広域市町村圏事務組合議会定例会（佐倉市）
- 7日・戦没者追悼式
- 8日・秋田県大館市議会議員行政視察来庁
- 10日・印旛管内市議会正副議長連絡協議会視察・定例会（長野県軽井沢町）
- 13日・八街婦人祭、輝く女性の研修会
- 15日・県後期高齢者医療広域連合議会定例会（千葉市）
- 16日・消防組合議会行政視察
- 18日・市PTA連絡協議会合同研修会（東京都）
- 20日・産業まつり
- 21日・市民ゴルフ大会表彰式（東金市）
- 23日・白井市施行10周年記念式典（白井市）
- 24日・市社会福祉協議会会長斎藤勝美氏県福祉事業功労表彰受賞祝賀会
- 26日・社会福祉大会
- 26日・市民文化祭授賞式
- 29日・特養開設三周年並びに地域交流スペース開設記念式典
- 「魅力ある学校づくり調査研究事業」研究発表会

9月臨時会議案等処理結果一覧

（9月臨時会）

○賛成　×反対

議案番号	件名	議決年月日	結果	各会派の賛否				
				誠和	公明	21	共産	改革
議案第1号	教育委員会委員の任命について	平成23年9月21日	同意	○	○	○	○	○
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて（介護認定審査会業務の事務の受託）	平成23年9月21日	承認	○	○	○	○	○
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度八街市一般会計補正予算）	平成23年9月21日	承認	○	○	○	○	○
議案第4号	八街市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	平成23年9月21日	原案可決	○	○	○	○	○
議案第5号	平成23年度八街市一般会計補正予算について	平成23年9月21日	原案可決	○	○	○	○	○

誠和（誠和会）…… 中田　眞司、湯淺　祐德、小高　良則、山口　孝弘、林　修三、石井　孝昭、木村　利晴、小山　栄治、小菅　耕二、鈴木　広美、長谷川健介
公明（公明党）…… 新宅　雅子、鯨井眞佐子、川上　雄次、服部　雅恵
21（やちまた21）…… 加藤　弘、林　政男
共産（日本共産党）…… 丸山わき子、右山　正美、京増　藤江
改革（改革クラブ）…… 古場　正春、桜田　秀雄

9月定例会議案等処理結果一覧

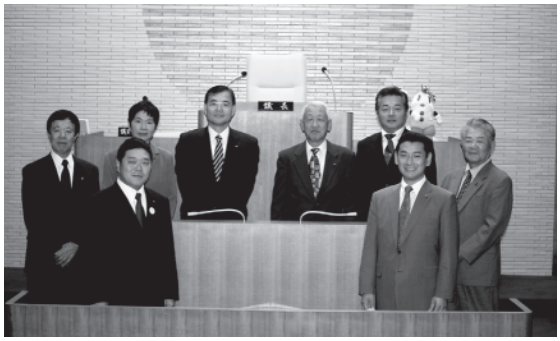
（9月定例会）

○賛成　×反対

議案番号	件名	議決年月日	結果	各会派の賛否					
				誠和	公明	21	共産	古	桜
第1号 日程第3	議会運営委員会委員の選任	平成23年9月29日	古場正春から石井孝昭	-	-	-	-	-	-
第1号 日程第4	佐倉市八街市酒々井町消防組合議会議員の選挙	平成23年9月29日	鯨井眞佐子 加藤　弘 湯淺　祐德	-	-	-	-	-	-
第1号 日程第5	千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	平成23年9月29日	鯨井眞佐子	-	-	-	-	-	-
第1号 日程第6	印旛衛生施設管理組合議会議員の選挙	平成23年9月29日	川上　雄次 小高　良則	-	-	-	-	-	-
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	平成23年9月29日	適任と認める	○	○	○	○	○	○
議案第1号	監査委員の選任について	平成23年9月29日	同意	○	○	○	○	○	○
議案第2号	八街市税条例等の一部を改正する条例の制定について	平成23年10月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第3号	平成23年度八街市一般会計補正予算について	平成23年10月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第4号	平成23年度八街市国民健康保険特別会計補正予算について	平成23年10月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第5号	平成23年度八街市後期高齢者医療特別会計補正予算について	平成23年10月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第6号	平成23年度八街市介護保険特別会計補正予算について	平成23年10月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第7号	平成22年度八街市一般会計歳入歳出決算の認定について		継続審査	-	-	-	-	-	-
議案第8号	平成22年度八街市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		継続審査	-	-	-	-	-	-
議案第9号	平成22年度八街市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について		継続審査	-	-	-	-	-	-
議案第10号	平成22年度八街市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		継続審査	-	-	-	-	-	-
議案第11号	平成22年度八街市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		継続審査	-	-	-	-	-	-
議案第12号	平成22年度八街市学校給食センター事業特別会計歳入歳出決算の認定について		継続審査	-	-	-	-	-	-
議案第13号	平成22年度八街市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		継続審査	-	-	-	-	-	-
議案第14号	平成22年度八街市水道事業会計決算の認定について		継続審査	-	-	-	-	-	-
議案第15号	消防自動車の購入について	平成23年10月19日	原案可決	○	○	○	○	○	○

誠和（誠和会）…… 中田　眞司、湯淺　祐德、小高　良則、山口　孝弘、林　修三、石井　孝昭、木村　利晴、小山　栄治、小菅　耕二、鈴木　広美、長谷川健介
公明（公明党）…… 新宅　雅子、鯨井眞佐子、川上　雄次、服部　雅恵
21（やちまた21）…… 加藤　弘、林　政男
共産（日本共産党）…… 丸山わき子、右山　正美、京増　藤江
古…… 古場　正春　　桜…… 桜田　秀雄

編集後記



選挙後の議会日程がずれたことにより、発行が遅れたことをまずお詫びいたします。

新議員が6名誕生したことにより、一般質問の内容にも変化を感じ紙面の中も様々で市民の声・地域のいろいろな声が聞こえてきているように受け取れます。

3.11東日本大震災による津波・原発問題や、タイの洪水問題など地球規模での自然災害が多く発生しており、災害に対する人間の対応の甘さを日々報道により知らされています。本市において、市民アンケートでの道路に対する声・雨水側溝に対する声、日々の生活に直結する声と共に災害に対する声など今までにもいろいろな声をいただいてきておりますが、今後も「市民の声」を積極的に掲載できるよう編集委員一同努力してまいります。

加藤　弘

●議会だより編集委員会●　委員長／加藤　弘　副委員長／川上雄次　委員／京増藤江・古場正春・小高良則・山口孝弘・林　修三・石井孝昭

※本紙にご意見等ございましたら「議会だより編集委員会」までお寄せ下さい。　TEL043(443)1482